

会津大学短期大学部研究年報第51号 pp. 17~32 (1994)

デザイン手法の研究
「THE PSYCHOLOGY OF EVERYDAY THINGS」

コンピュータ・プログラムによる
D.A.Norman のデザイン思想の実践的研究(1)

時野谷 茂

緒 言

デザインという言葉については様々な解釈がなされているが、今日のデザインという言葉の意味するところの一面としてある種の機能といったことが求められていることは事実である。特に製品のデザインを扱うプロダクト・デザインの分野においては顕著である。プロダクト・デザインの場合デザイナーの意志は2つの方法でユーザーに伝達される。一つは「取扱説明書」であり、もう一つは製品自体である。「取扱説明書」による意志伝達は容易であり、より確実であるが、今日のワードプロセッサ等に代表されるように多機能のものになればなるほど「取扱説明書」は分厚いものとなりユーザーからは敬遠されがちである。その結果多機能製品もその一部の機能が利用されるだけという状態が生まれる。そのような状態を回避するにはやはり製品そのものの意志伝達能力を高めていくことが必要であろう。この意味での理想のデザインとはマニュアルレス、「取扱説明書」不要のデザインということになる。どのような思想、方法の基にデザインを行えばそのようなことが可能になるのか。本稿で扱うデザイン手法とは美しい形を創出するための手法ではなく使い易いものを創出するための手法をいう。

この方面での大きな示唆を与えてくれる研究にはカリフォルニア大学サンディエゴ校心理学教授であり、認知科学研究所の所長を兼任している Donald A. Norman の著した「THE PSYCHOLOGY OF EVERYDAY THINGS」(「誰のためのデザイン? 認知科学者のデザイン原論」野島久雄訳、1990新曜社)がある。ここでその内容を簡単に紹介してみる。

(前略) それでは、私が日常生活において、簡単なものをうまく使えないということについてはどうだろうか。私は複雑なものだって使える。コンピュータや電子機器や複雑きわまりない実験室の装置にかけては、私は専門家であるといっている。その私がどうしてドアや電灯スイッチや蛇口に困ってしまうのだろうか。何百万ドルもするコンピュータ設備を使いこなせるのに、家にある冷蔵庫が使いこなせないなどということがあるのだろうか。私たちが自分自身を責めているその一方で、本来狙上にのぼるべきデザインの誤りが見過ごされている。さらに、数え切れないほどの人々が自分には道具を使う才能がないんだと思こまされているのである。今こそこのような状況を変えねばならない。(後略) (「はじめに」より)

Norman は「はじめに」で上記のごとくこの本を書くきっかけについて述べ本書の目的を明確に示した後、「第1章：毎日使う道具の精神病理学」では、日常出会う諸々のデザインされたものの問題点と改良するためのデザインの法則をデッサンしてみせる。

「日常場面における行為の心理学」と題する第2章では、なぜ使いやすいデザインという考え方

が浸透しないのかそこにはユーザー側の意識の問題もあることを指摘し、その原因を探るとともに人間の作業行為を段階的に分析してみせ、使い易いとはどういうことかを述べている。

以下「第3章 頭の中の知識と外界にある知識」（知識と行動との関係）、「第4章 何をするかを知る」（行為、行動の誘導）、「誤るは人の常」（人の間違いの構造とそれにたいする備え）、「第6章 デザインという困難な課題」（正常なデザイン行為を妨げる様々な要因）等について述べ、「第7章 ユーザー中心のデザイン」でそのまとめを行っている。

まず、デザインは次のようであってはならない。

- ・いついかなるときにも、その時点でどんな行為をすることができるのかを簡単にわかるようにしておくこと。（制約を利用する）
- ・対象を目に見えるようにすること。システムの問題モデルや、他にはどんな行為を行うことができるか、そして、行為の結果なども目に見えるようにすること。
- ・システムの現在の状態を評価しやすくしておくこと。
- ・意図とその実現に必要な行為の対応関係、行為とその結果起こることとの対応関係、目に見える情報とシステムの状態の解釈の対応関係などにおいて、自然な対応づけを尊重し、それに従うこと。（308ページ）

難しい作業を単純なものにするための七つの原則

- 1 外界にある知識と頭の中にある知識の両者を利用する。
- 2 作業の構造を単純化する。
- 3 対象を目に見えるようにして、実行のへだたりと評価のへだたりに橋をかける。
- 4 対応づけを正しくする。
- 5 自然の制約や人工的な制約などの制約の力を活用する。
- 6 エラーに備えたデザインをする。
- 7 以上すべてがうまくいかないときは標準化をする。（309ページ）

以上が D.A.Norman の説くユーザーのためのデザインの原則の要旨であるが、本研究は彼の考えを具体的事例で実践し、その有効性を検討するとともに具体的手法の確立を模索するものである。本稿は会津大学短期大学部の入学試験時における「採点結果集計プログラム」のデザインプロセスを通してプログラムへの D.A.Norman の思想の取り込み方について報告する。

1. 条件設定と分析

使用者：短期大学の教職員

機材：PC-980系のコンピュータ並びにプリンター

ソフト：MS-DOS上で作動する市販のデータベース用アプリケーションソフト（「dBASE III」、「dBASE III Plus」、「dBASE IV」（いずれも 株式会社ボーランドの製品）を基本ソフトとして用いる。従って実行プログラムはそのマクロコマンドを用いて構築する。

*MS-DOS：米国マイクロソフト社のディスクオペレーションシステム

今回のプログラムをデザインするにあたっては人もの共に短期大学の現在の人員、機材で対応することを基本条件とした。そのなかにはプログラムデザイナーも含まれる。その結果どのような設計条件が浮かび上がってくるのであろうか。まず使用者からみていくと、使用者である短期大学教職員の中にはコンピュータに不慣れな人もいると考えられる。その原因としてはコンピュータ等を必要としない分野の研究者であることもあろうが、キーボードアレルギーということも考えられる。従って本プログラムの導入にあたっては特にコンピュータを意識する事なく以前の作業と大きくかけ離れないことが肝要である。また毎年関係者が交代するといったことから、特別な訓練も要しないといったことも必要となる。このことから「電卓感覚で扱える」といったキーワードを設定した。これは Norman のいう標準化された知識にあたる電卓を利用しようとするものである。

機材の選定にあたっては採点集計という作業が科目毎、学科毎に同時平行的に行われことから複数台利用可能な機種が求められた。またこのことから採点データを各ファイル間で転送することが必要となり、機種選定においてもプログラム実行用ディスクドライブとデータ取り込み用ディスクドライブの2ドライブが条件となった。この条件を満たすものとしてはコンピュータ・センターが管理する日立のメインフレーム方式による大型コンピュータ、学科内ネットワークが構築されているマッキントッシュ、食物栄養学科が複数台所有する他数名の教職員、事務職員が使用しているNECのPC-980系がある。プログラムデザイナーからの条件と受験生の受付や統計処理のためのソフトがNECのPC-980系で既に導入されており、それとのデータの互換性が求められることからNECのPC-980系を採用することとなった。

ソフトの選定にあたっては、近年のコンピュータソフトが機能の多様化、上質化を指向するに伴いソフト自体の大容量化が進行しており、ハード面におけるメモリーの増加、大容量ハードディスクの利用を前提としたものが多くなってきている。しかし本学のPC-980系の現在の状況下ではハード的にそのような条件を望むことはできない。その結果ハードディスクなしのフロッピーデ

ISKドライブ2台のみ、メモリーも最低384Kバイトで運用可能なソフトということになった。また、プログラムデザイナーの条件から「dBASE III」、「dBASE III plus」、「dBASE IV」のdBASEシリーズがその対象となったが、「dBASE IV」はプロテクトメモリーを3Mバイト以上必要とすることからハードと不適合であり「dBASE III」の上位バージョンである「dBASE III plus」を基本ソフトとした。

2. デザイン条件

ここで改めてこれらの条件とそこから導き出される条件を整理してみると以下の結果となる。

- (01) プログラムは「MS-DOS」、「dBASE III plus」、「採点結果集計プログラム」それに採点データを含めてフロッピーディスク1枚以内に納めなければならない。
- (02) (01)より日本語変換機能は使用することはできない。
- (03) プログラムの起動は電源またはリセットボタンによる自動起動とする。
- (04) 操作の煩雑さを避ける意味からも使用文字は半角英数字のみとする。
- (05) 誤操作防止の意味からも採点結果入力とそのための画面操作のための入力は場所的にも分け、前者を数字入力キーが集約されているテンキーに、後者を英文字入力キーに割り当てる。但し評定平均のランク入力に関しては表記方法の連続性を考えて英文字入力とする。この結果英文字は [A]、[B]、[C] (ランク入力用)。[Y]、[N] (コンピュータからのメッセージの確認用)。[E] (作業の終了用)。[T] (データ訂正用)。[S]、[I] (起動時の推薦・一般の別を選択)の9文字に限定する。このうち使用頻度の高いものは [Y] [N] [E] であり [S] [I] は起動時のみである。使用文字キーが少々多めであるがこれは作業内容と操作キーとの関連性の面を重視したたのである。
- (06) キャップスロックキー、[S I F T] キー操作を不要にする。
- (07) データの入力は数字キーとリターンキーのみで行う。電卓の [+] キーの代わりにテンキーを打つという感覚である。(これまでの手作業による集計の際、平均値等を求める為に行っていた電卓による計算の部分をデータ入力に置き換えようというのが本プログラム開発の動機でもあった。)
- (08) データ入力時に入力場所を矢印キー等で移動するなどの煩わしさはできる限り排除する。
- (09) 誤操作防止のため必要個所以外を入力、変更等操作可能な状態にしない。
(以上により入力作業をデザイン目標キーワードである「電卓感覚」に近づける。)

- (10) メニュー表示によりそこでできることを明らかにする。
- (11) そのための操作方法をその場で提示する。
- (12) 今なにをしたか、なにをしているのかを確認できるようにする。(適切なフィードバックとメッセージ表示)
- (13) 誤操作処理ルーチンや行為確認メッセージの表示とアンサー要求によって誤操作に対処する。
- (14) 基本ソフトに関するものは除いて、本プログラムに関する部分は「取扱い説明書」はA4用紙2ページ程度に納まるものとする。

3. ファイル構成

- ・ディスクオペレーションシステム

MS-DOS Ver 3.3B
 COMMAND.COM (24931B)
 FORMAT.EXE (105050B)

- ・基本ソフト

DBASE III PLUS (467144B)

- ・採点結果集計処理プログラム

プログラムリストに表示 (計：90000B)

- ・データファイル

NYUSI.DBF	(採点データ用フォーマット	基本：1156B,130B/REC)
NYUSIZ.DBF	(実技採点用フォーマット	基本：1536B,177B/REC)
SUISENZ.DBF	(論文採点用フォーマット	基本：1214B,124B/REC)
BUNPU.DBF	(得点分布用フォーマット	基本：3506)
PRI01.DBF	(差込データ整形用フォーマット	基本：1536B,140 B/REC)
GAKUSEI0.DBF	(名簿用フォーマット	基本：1346B)

以上基本的部分での必要容量は約700000Bである。これに一般入試時における1学科受験生を300人と想定した場合の必要ファイル容量は採点データ用が130X300+1156で約40156B。序列ファイル、ソート時のバックアップファイルを考慮してこの2倍が必要であり総計120000Bあればよい。MS-DOSシステムを含めてもフロッピーディスク1枚に収納可能である。

(*) B=バイト (メモリーの単位)

4. プログラムの操作手順概要

A. (準備作業)

- (01) Aドライブにマスタディスクをセット。電源スイッチON。メッセージを確認後、Bドライブに新規ディスクをセットしてから [S] を入力し、各学科「とりまとめ用ファイル」並びに各「科目用ファイル」を作成。
- (02) Aドライブに各科「とりまとめ用ファイル」をセットし、電源ON(コンピュータが立ち上がっている時はリセットボタンを押すか、「AUTOEXEC」と入力)。メッセージに従い入学試験年度と推薦、一般の別を入力(データファイル名を決定する：プログラム起動の都度行う)
- (03) 「入試関係 MENU」から「1. 受験生基本データ入力・訂正」を選択。
Bドライブに「受験生受付ファイル」をセット。
- (04) 「受験生基本データ入力・訂正 MENU」から「4. 受験生受付ファイルからのデータ取り込」を選択。指示に従い必要データを複写。

B. (基本データ入力)

- (01) Aドライブに各科「とりまとめ用ファイル」をセット。電源スイッチON。
- (02) 「入試関係 MENU」から「1. 受験生基本データ入力・訂正」を選択
- (03) 「受験生基本データ入力・訂正 MENU」から「1. データ入力・訂正」を選択
- (04) 「基本データ入力 MENU」から目的の項目を選択し、各学科で「とりまとめ用ファイル」に評点平均等受験生の基本データを入力。

C. (出欠状況の入力)

- (01) Aドライブに各科「とりまとめ用ファイル」をセット。電源スイッチON。
- (02) 「入試関係 MENU」から「1. 受験生基本データ入力・訂正」を選択
- (03) 「受験生基本データ入力・訂正 MENU」から「4. 出欠データ入力・訂正」を選択
- (04) 各学科毎に「とりまとめ用ファイル」に出欠状況を入力

D. (採点結果入力作業準備)

- (01) Aドライブに各科「とりまとめ用ファイル」をセット。電源スイッチON。
- (02) Bドライブに「受験生受付ファイル」をセット。「入試関係 MENU」から「1. 受験生基本データ入力・訂正」を選択。
- (03) 「受験生基本データ入力・訂正 MENU」から「5. 科目採点ファイルへのデータ転送」を選択。指示に従い必要データを「科目採点ファイル」に複写。

E. (採点結果入力作業)

- (01) Aドライブに各科「科目用ファイル」をセット。電源スイッチON。
- (02) 「入試関係 MENU」から「2. 科目別採点データ入力・訂正」を選択
- (03) 「科目別採点データ入力・訂正 MENU」から目的の科目を選択し、データを入力する。
 - ・選択科目の場合は更に「選択科目採点データ入力・訂正 MENU」から目的の科目を選択し、データを入力する。(入力を終了するとこの時点でチェック用のデータや得点分布表、最高、最低平均、総点、人数の印刷が可能である。)
 - ・実技、論文を選択した場合は更に「実技採点データ入力・訂正 MENU」、「論文採点データ入力・訂正 MENU」によってデータ入力、集計を行う。(これは実技等の場合複数の採点者による合議制をとる場合が考えられるためである。)

F. (採点結果集計作業)

- (01) 「入試関係 MENU」から「3. 全科目採点データ集計」を選択。
- (02) 「科目用ファイル」をBドライブにセットした後、「全科目採点データ集計 MENU」から科目を選択し各科目の採点結果を取り入れる。
- (03) 全科目のデータ取り入れが済んだ後「7. 合計点の算出と序列記入」を選択。

G. (採点結果の出力)

- (01) 「入試関係 MENU」から「4. 集計結果出力」を選択。書式を整える場合は「6. 最終提出資料作成」を選択。(テキストデータを作成、「一太郎用」で差し込みデータに変換後、内部資料用書式によって印刷) * 一太郎：JUST SYSTEM社のワープロソフト

H. (合否判定結果入力)

- (01) 「入試関係 MENU」から「5. 合格点及び合否入力」を選択。

I. (最終合格判定資料作成)

- (01) 「入試関係 MENU」から「6. 最終提出資料作成」を選択し「一太郎」用の差し込みファイル作成後、「一太郎」により事務処理用書式によって印刷。

J. (受付ファイルへの合否データの転送)

- (01) 受験生受付用プログラムを起動し、Bドライブに「とりまとめ用ファイル」をセットした後、取り込みメニューを選択する。

K. (入学者データ引継)

- (01) 「入試関係 MENU」から「9. データ引継」を選択。「受付用ファイル」から合格者の入学・辞退のデータを取り入れる。(これによって入学後の各種名簿データを作成する。)
以下にプログラムリストを示すが、SI-TXT.PRG, SI-TXTS.PRG は牧田和久助教授が作成されたものを許可を得て改編したものである。また紙面の都合上、本研究の説明に支障をきたさない範囲で、ユーザーとの関わりの少ないルーチンを省略した。

プログラムリスト

< プログラム準備段階 >

* 名称: ZPRG
 * 内容: 会津大学短期大学部入試集計処理プログラム 起動
 * 制作: 時野谷茂 1993
 CLEAR
 DO SI-SLPRG
 DO MENU
 RETURN

* 名称: SI-SLPRG
 * 内容: 使用ファイル名の作成準備 (年度と推薦・一般の別を入力)
 * 制作: 時野谷茂 1992 1993
 CLEAR

DO NYUSIPUB && 変数宣言
 ANS=""
 SYUBETU0=""
 SYUBETU=""
 NEN=""
 DO WHILE.T. && 誤入力防止
 CLEAR

@ 5,10 SAY "始めにファイルの指定を行いますので以下の項目を設定して下さい"
 @ 7,10 SAY "入学試験年度を西暦でどうぞ"
 "GET NEN

@ 9,10 SAY "推薦ですか 一般ですか 推薦-(S)、一般-(I) "GET SYUBETU

READ
 IF SYUBETU="S".OR.SYUBETU="s"
 SYUBETU0="0"
 ENDIF
 IF SYUBETU="T".OR.SYUBETU="t"
 SYUBETU0="1"
 ENDIF

@ 12,10 SAY "よろしいですね はい-Y、いいえ-N "GET ANS

READ
 IF ANS="Y".OR.ANS="y"
 EXIT
 ENDF
 ENDDO
 DO SI-FN
 RETURN

* 名称: NYUSIPUB.PR
 * 内容: パブリック変数宣言
 * 制作: 時野谷茂 1991 1992 1993
 (紙面の都合により省略)

* 名称: SI-FN.PR
 * 内容: 使用ファイル名を作成
 * 制作: 時野谷茂 1992 1993
 if SYUBETU="S".OR.SYUBETU="s"
 NYUSIO=NEN+"SUIO"
 NYUSIP=NEN+"SUIP"
 SUISEN=NEN+"SR"
 NYUSIR=NEN+"ZS"
 ENDF

IF SYUBETU="T".OR.SYUBETU="t"
 NYUSIO=NEN+"IPNO"
 NYUSIP=NEN+"IPNP"
 NYUSIR=NEN+"NZ"
 ENDF
 RETURN

< プログラム メイン部分動作 >

* 名称: MENU.PR
 * 内容: 入試集計処理 メインメニュー
 * 制作: 時野谷茂 1993
 CLEAR
 text

-- 会津大学短期大学部 --

入試関係 MENU
 1・受験生基本データ入力・訂正
 (評定平均、ランク、選択科目、出欠、データ入出)
 2・科目別採点データ入力・訂正
 3・全科目採点データ集計
 4・集計結果出力
 5・合格点及び合否入力
 6・最終提出試料作成
 7・一般・推薦重複度チェック
 8・入学者・辞退者入力
 9・データ引継
 E・終了

-- 番号をどうぞ -----

```

ENDTEXT
ACCEPT "
ANSM1
IF ANSM1="1"
DO ZYUKEN.PR
ENDIF
IF ANSM1="2"
DO SAITEN.PR
ENDIF
IF ANSM1="3"
DO SI-G.PR
GCK="0"
ENDIF
IF ANSM1="4"
DO SI-KP.PR
ENDIF
IF ANSM1="5"
DO SI-GO.PR
ENDIF
IF ANSM1="6"
DO SI-SEF.PR
ENDIF
IF ANSM1="7"
DO SI-HL.PR
ENDIF
IF ANSM1="8"
DO SI-NYU.PR
ENDIF
IF ANSM1="9"
DO SI-HKIT.PR
ENDIF
IF ANSM1="C".OR.ANSM1="c"
DO SI-COPY1.PR
ENDIF
IF ANSM1="E".OR.ANSM1="e"
USE
CLEAR
RETURN
ENDIF
IF ANSM1="Q".OR.ANSM1="q"
USE
CLEAR
QUIT
ENDIF
DO MENU
RETURN
  
```

< 1・受験生基本データ入力・訂正 >

* 名称: ZYUKEN.PR
 * 内容: 入試集計処理 受験生基本データ
 * 制作: 時野谷茂 1993
 ANSM2=""
 CLEAR
 TEXT

-- 受験生基本データ関係 MENU --

1・データ入力・訂正
 2・全項目に亘 データ訂正
 3・データ出力 (ワープロソフト用データ及び印刷)
 4・入試関係 MENU に戻る
 E・終了

-- 番号をどうぞ -----

```

ENDTEXT
ACCEPT "
" TO ANSM2
IF ANSM2="1"
DO SI-KN.PR
ENDIF
IF ANSM2="2"
DO SI-KT.PR
ENDIF
IF ANSM2="3"
DO SI-KO.PR
ENDIF
IF ANSM2="4"
USE &NYUSIP INDEX &NYUSIP
SORT TO WORK ON 学科,番号
ZAP
APPEND FROM WORK
INDEX TO NYUSIPCON コード
USE
CLEAR
RETURN
ENDIF
IF ANSM2="E".OR.ANSM2="e"
USE &NYUSIP INDEX &NYUSIP
SORT TO WORK ON 学科,番号
ZAP
APPEND FROM WORK
INDEX TO NYUSIPCON コード
USE
CLEAR
RETURN
ELSE
DO ZYUKEN
ENDIF
RETURN
  
```

* 名称: SI-KN.PR
 * 内容: 受験生受付ファイルからの受験生基本データ複写
 * 制作: 時野谷茂 1991 1992 1993
 ANSD1="Y"
 ANSD2=0
 ANSD3=""
 D1=""
 DO SI-KN1
 RETURN

* 名称: SI-KN1.PR
 * 内容: 受験生基本データの入力・訂正メニュー
 * 制作: 時野谷茂 1993
 ANSKN=""
 CLEAR
 TEXT

基本データ入力 MENU
 1. 評定平均の入力・訂正
 2. ランクの入力・訂正
 3. 選択コードの入力・訂正
 4. 受付ファイルからのデータ取入
 5. 科目ファイルへのデータ出力
 E. 終了

* 基本的入力が済んだ後の訂正は [IT] のように各項目番号にTを加えて入力

```

ENDTEXT
ACCEPT "番号をどうぞ" TO ANSKN
IF ANSKN="1"
HNA="評定平均の入力"
FNA="評定平均"
DO SI-KN2
ENDIF
IF ANSKN="2"
HNA="ランクの入力"
FNA="ランク"
DO SI-KN2
ENDIF
IF ANSKN="3"
HNA="選択コードの入力"
FNA="選択コード"
  
```

```

DO SI-KN2
DO HENKAN.PRG
ENDIF
IF ANSKN="4"
CLEAR
@ 7,10 SAY "受験生基本データの取り入れを
行います"
@ 9,10 SAY "受験生受付データをセットしド
ライブ番号をABで入力して下さい" GET DI
@ 12,10 SAY "学科番号をどうぞ 1. 産
業情報学科"
@ 13,10 SAY "2. 食物栄養学科"
@ 14,10 SAY "3. 社会福祉学科" GET
ANSD2
@ 16,10 SAY "よろしかったらリターン・キー
をどうぞ" GET ANSD3
READ
USE NYUSI
COPY STRUC TO &NYUSIP
USE &NYUSIP
INDEX ON 番号 TO &NYUSIP
SET INDEX TO &NYUSIP
DFL=D1+" "+NYUSI-1.DBF
APPEND FROM &DFL FOR 学科=ANSD2.AND.
種類=SYUBETU0
USE
ENDIF
IF ANSKN="5"
CLEAR
@ 7,10 SAY "受験生基本データを各科目ファ
イルに転送します"
@ 9,10 SAY "科目ファイルをBドライブにセ
ットしてください"
@ 11,10 SAY "よろしかったらリターン・キー
をどうぞ" GET ANSD3
READ
USE &NYUSIP
IFLE="B:" + NYUSIP
COPY TO &FILE
USE
ENDIF
IF ANSKN="E".OR. ANSKN="e"
CLEAR
USE
RETURN
ENDIF
DO SI-KN1
RETURN

```

* 名称: SI-KN2.PRG
* 内容: 受験生基本データの入力・訂正
* 制作: 時野谷茂 1993

```

SET STATUS OFF
SET TALK OFF
USE &NYUSIP INDEX &NYUSIP
CKN=RECCOUNT()
IF 学科=1
KANAME="産業情報学科"
ENDIF
IF 学科=2
KANAME="食物栄養学科"
ENDIF
IF 学科=3
KANAME="社会福祉学科"
ENDIF

```

```

N=1
X=0
Y=0
ANSKN1=""
ANSKN2=""
CLEAR
@ X,Y SAY "学科名: "+KANAME+" "+HNA
@ X+1,Y SAY "番号"
X=2
DO WHILE N<=CKN
GO N
IF ANSKN="1"

```

```

@ X,Y SAY 番号 GET &FNA PICTUR "9.9"
IF ANSKN="1T".OR. ANSKN="1t"
ELSE
READ
ENDIF
ELSE
@ X,Y SAY 番号 GET &FNA
IF ANSKN="1T".OR. ANSKN="1t"
ELSE
READ
ENDIF
ENDIF
REPLACE XX WITH X,YY WITH Y
X=X+1
IF (Y=60.AND. X=22).OR. N=CKN
DO WHILE .T. &&誤操作防止ルーチン
@ 23,10 SAY "ご確認ください よろしけれ
ば Y 要訂正 N" GET ANSKN1
READ
if anskn1="n".or. anskn1="N"
DO SI-TEISE
ANSKN1=""
ENDIF
IF ANSKN1="Y".OR. ANSKN1="y"
NT=CKN
ANSKN1=""
EXIT
ENDIF
LOOP
ENDDO
CLEAR
X=0
Y=0
@ X,Y SAY "学科名: "+KANAME+" "+HNA
@ 1,Y SAY "番号"
X=2
ENDIF
IF X=22
X=2
Y=Y+10
@ 1,Y SAY "番号"
ENDIF
N=N+1
ENDDO
CLEAR
@ 7,10 SAY "再度ご確認ください 終了は[
CTRL]+[W]を同時に押してください"
@ 9,10 SAY "再確認をしますので リター
ンキーを押してください" GET ANSKN2
READ
ANSKN2=""
GO 1
BROWSE LOCK 2 FIELDS 番号,氏名,評定平均,
ランク,選択ｺｰﾄﾞ
CLEAR
SET STATUS ON
SET TALK ON
RETURN

```

* 名称: SI-KT.PRG
* 内容: 受験生基本データ全項目に亘る訂正
* 制作: 時野谷茂 1992 1993

```

CLEAR
USE &NYUSIP INDEX &NYUSIP
GO TOP
BROWSE LOCK 2 FIELDS 番号,氏名,性別,高校
ｺｰﾄﾞ,卒業年度,県別,評定平均,ランク,選択ｺｰ
ﾄﾞ
DO HENKAN.PRG
USE
RETURN

```

```

* 制作: 時野谷茂 1992
ANSL2=""
CLEAR
TEXT
受験生基本データ出力MENU
1. 受験番号順
2. 県及び高校別
E. 終了
ENDTEXT
ACCEPT TO ANSL
USE &NYUSIP INDEX &NYUSIP
IF ANSL="1"
SORT TO WORK ON 番号
USE WORK
COPY TO SASI-KN FIELDS 番号,氏名,性別,出身
高校,卒業年度,県別,評定平均,ランク TYPE
DELIMITED
COPY TO FILEP FIELDS 番号,氏名,性別,出身高
校,卒業年度,県別,評定平均,ランク
ENDIF
IF ANSL="2"
SORT TO WORK ON 出身県,出身高校
USE WORK
COPY TO SASI-KK FIELDS 出身県,出身高校,氏
名,番号,性別,卒業年度,県別,評定平均,ランク
TYPE DELIMITED
COPY TO FILEP FIELDS 出身県,出身高校,氏名,
番号,性別,卒業年度,県別,評定平均,ランク
ENDIF
IF ANSL="1".OR. ANSL="2"
CLEAR
@ 7,20 SAY "一太郎用差し込みファイルは
"+KFILEP+" ですか"
@ 9,20 SAY "d B A S E IIIでのリストをプ
リントしますか Y/N" GET ANSL2
READ
IF ANSL2="Y".OR. ANSL2="y"
CLEAR
@ 5,20 SAY "プリンターの用意をしてくだ
さい"
@ 7,20 SAY "プリンターの用意はできまし
たか Y/N" GET ANSL2
READ
USE FILEP
LIST TO PRINT
USE
ENDIF
ENDIF
IF ANSL="E".OR. ANSL="e"
RETURN
ELSE
DO SI-KO
ENDIF
RETURN

```

< 2・科目別採点データ入力・訂正 >

* 名称: SAITEN.PRG
* 内容: 科目別採点データ入力・訂正 M E N U
* 制作: 時野谷茂 1993

```

ANSM3=""
ANSF1="" &&実技 論文関係
NINZU=0 &&実技 論文関係
CLEAR
TEXT
科目別採点データ入力・訂正MENU
1・国語採点データ入力・訂正
2・英語採点データ入力・訂正
3・選択科目採点データ入力・訂正
4・面接採点データ入力・訂正
5・選択科目採点データ入力・訂正
6・入試MENUに戻る
E・終了
一番号をどうぞ
* 基本的入力が済んだ後の訂正は[IT]のよ
うに各項目番号にTを加えて入力 *
```

```

ENDTEXT
ACCEPT "" TO ANSM3
IF ANSM3="1"
  KAMOKU="国語"
  DO SI-HISYU
  ENDIF
IF ANSM3="2"
  KAMOKU="英語"
  DO SI-HISYU
  ENDIF
IF ANSM3="3"
  DO SENTAKU.PRG
  ENDIF
IF ANSM3="4"
  DO SI-INPM.PRG
  ENDIF
IF ANSM3="5"
  DO RONBUN.PRG
  ENDIF
IF ANSM3="6"
  RETURN
  ENDIF
IF ANSM3="E".OR. ANSM3="e"
  USE
  CLEAR
  RETURN
  ELSE
  DO SAITEN.PRG
  ENDIF
RETURN

* 名称: SI-HISYU.PRG
* 内容: 必修科目採点データ入力・訂正
* 制作: 時野谷茂 1993
SET STATUS OFF
SET TALK OFF
ANSKN=""
USE &NYUSIP INDEX &NYUSIP
CKN=RECCOUNT()
IF ANSM3="1"
  FNA="国語"
  HNA="国語採点結果入力"
  ENDIF
IF ANSM3="2"
  FNA="英語"
  HNA="英語採点結果入力"
  ENDIF
IF 学科=1
  KANAME="産業情報学科"
  ENDIF
IF 学科=2
  KANAME="食物栄養学科"
  ENDIF
IF 学科=3
  KANAME="社会福祉学科"
  ENDIF
N=1
X=0
Y=0
ANSKN1=""
ANSKN2=""
CLEAR
@ X,Y SAY "学科名: "+KANAME+" "+HNA
@ X+1,Y SAY "番号"
X=2
DO WHILE N<=CKN
  GON
  IF 出欠="出"
    @ X,Y SAY 番号 GET &FNA PICTUR "999"
  IF ANSM3="1".OR. ANSM3="2"
    ELSE
    READ
    ENDIF
  ENDIF
  REPLACE XX WITH X,YY WITH Y
  X=X+1
  IF(Y=60.AND. X=22).OR. n=>ckn

```

```

NT=1
DO WHILE.T.
  @ 23,10 SAY "ご確認ください よろしけれ
  ば Y 要訂正 N "GET ANSKN1
  READ
  IF ANSKN1="Y".OR. ANSKN1="y"
    NT=CKN
    ANSKN1=""
    EXIT
    ENDIF
  IF ANSKN1="N".OR. ANSKN1="n"
    DO SI-TEISEI
    ENDIF
    ANSKN1=""
    LOOP
  ENDDO
  CLEAR
  X=0
  Y=0
  @ X,Y SAY "学科名: "+KANAME+" "+HNA
  @ 1,Y SAY "番号"
  X=2
  ENDIF
  IF X=22
    X=2
    Y=Y+10
    @ 1,Y SAY "番号"
    ENDIF
    N=N+1
  ENDDO
  CLEAR
  DO WHILE.T.
    @ 7,10 SAY "確認用に結果をプリントアウト
    しますか Y/N "GET ANSKN2
    READ
    IF ANSKN2="Y".OR. ANSKN2="y"
      @ 9,10 SAY "印刷をしますので用意ができ
      ましたらリターンキーを押してください"
      GET ANSKN2
      READ
      @ 11,20 SAY "印刷を始めています"
      SET DEVICE TO PRINT
      X=PROW()
      Y=10
      N=1
      @ X,Y+2 SAY "学科名: "+KANAME+" "+HNA
      @ X,Y+42 SAY date()
      @ X,Y+52 SAY time()
      @ X+1,Y+2 SAY "番号"
      @ X+1,Y+17 SAY "番号"
      @ X+1,Y+32 SAY "番号"
      @ X+1,Y+47 SAY "番号"
      X=X+2
      CKX=0
      ENDDO
      eject
      SET DEVICE TO SCREEN
      CLEAR
      SET STATUS ON
      SET TALK ON
      EXIT
      ENDIF
      IF ANSKN2="N".OR. ANSKN2="n"
        EXIT
        ENDIF
        ANSKN2=""
        LOOP
      ENDDO
      DO SI-KEI1
      clear
      @ 7,10 SAY "最高 最低 平均 分布 を印刷
      します "
      @ 9,10 SAY "用紙をセットしてください よろ
      しければ Y を"GET ANSKN1
      READ
      USE &HNAA
      @ 11,20 SAY "印刷を始めています"
      HNAB=LEFT(HNA,12)
      D1=DATE()
      T1=TIME()
      SET DEVICE TO PRINT
      X=PROW()
      Y=10
      @ X,Y SAY "学科名: "+KANAME+" "+HNAB
      @ X,Y+80 SAY DATE()

```

```

IF 出欠="出"
  @ X,Y+37 SAY &FNA PICTUR "999"
  ELSE
  @ X,Y+37 SAY 出欠
  ENDIF
endif
if ckn>=(n+150)
  GON+150
  @ X,Y+45 SAY 番号
  @ x,y+50 SAY "-"
  IF 出欠="出"
    @ X,Y+52 SAY &FNA PICTUR "999"
    ELSE
    @ X,Y+52 SAY 出欠
    ENDIF
    endif
    X=X+1
    CKX=CKX+1
    IF CKX=50
      eject
      SET DEVICE TO SCREEN
      N=N+150
      clear
      ? CHR(7)
      @ 9,20 SAY "用紙をセットしてください よろ
      しければ Y を"GET ANSKN1
      READ
      @ 11,20 SAY "印刷を始めています"
      SET DEVICE TO PRINT
      CLEAR
      X=PROW()
      Y=10
      IF N<CKN
        @ X,Y+2 SAY "学科名: "+KANAME+" "+HNA
        @ X,Y+42 SAY date()
        @ X,Y+52 SAY time()
        @ X+1,Y+2 SAY "番号"
        @ X+1,Y+17 SAY "番号"
        @ X+1,Y+32 SAY "番号"
        @ X+1,Y+47 SAY "番号"
        ENDIF
        X=2
        CKX=0
        ENDIF
        N=N+1
      ENDDO
      eject
      SET DEVICE TO SCREEN
      CLEAR
      SET STATUS ON
      SET TALK ON
      EXIT
      ENDIF
      IF ANSKN2="N".OR. ANSKN2="n"
        EXIT
        ENDIF
        ANSKN2=""
        LOOP
      ENDDO
      DO SI-KEI1
      clear
      @ 7,10 SAY "最高 最低 平均 分布 を印刷
      します "
      @ 9,10 SAY "用紙をセットしてください よろ
      しければ Y を"GET ANSKN1
      READ
      USE &HNAA
      @ 11,20 SAY "印刷を始めています"
      HNAB=LEFT(HNA,12)
      D1=DATE()
      T1=TIME()
      SET DEVICE TO PRINT
      X=PROW()
      Y=10
      @ X,Y SAY "学科名: "+KANAME+" "+HNAB
      @ X,Y+80 SAY DATE()

```

```

@ X,Y+90 SAY TIME0
LIST OFF TO PRINT
SET DEVICE TO SCREEN
EJECT
USE
RETURN

(( 3・選択科目採点データ入力・訂正 ))

* 名称: SENTAKU.PRG
* 内容: 選択科目採点データ入力・訂正
* 制作: 時野谷茂 1993

ANSM4=""
SAITENSYA=0
CLEAR
TEXT
選択科目採点データ入力関係MENU
1・実技
2・数学
3・世界史
4・日本史
5・採点MENUに戻る
6・入試MENUに戻る
E・終了
番号をどうぞ
* 基本的入力が済んだ後の訂正は[2T]のよ
うに各項目番号にTを加えて入力 *
ENDTEXT
ACCEPT "" TO ANSM4
IF ANSM4="1"
DO AMTEI.PRG
ENDIF
IF ANSM4="2"
SENT="数"
KAMOKU="選"
DO SI-SENT
ENDIF
IF ANSM4="3"
SENT="世"
KAMOKU="選"
DO SI-SENT
ENDIF
IF ANSM4="4"
SENT="日"
KAMOKU="選"
DO SI-SENT
ENDIF
IF ANSM4="5"
RETURN
ENDIF
IF ANSM4="6"
DO MENU.PRG
ENDIF
IF ANSM4="E".OR.ANSM4="e"
USE
CLEAR
DO SENTAKU.PRG
ENDIF
RETURN

* 名称: SI-SENT.PRG
* 内容: 選択科目採点データ入力・訂正 数
学 世界史 日本史
* 制作: 時野谷茂 1993
SET STATUS OFF
SET TALK OFF
ANSKN=""
USE.&NYUSIP INDEX.&NYUSIP
CKN=RECCOUNT0
IF ANSM4="2"
FNA="選択"
HNA="数学採点結果入力"
ENDIF
IF ANSM4="3"
FNA="選択"
HNA="世界史採点結果入力"

```

```

ENDIF
IF ANSM4="4"
FNA="選択"
HNA="日本史採点結果入力"
ENDIF
IF 学科=1
KANAME="産業情報学科"
ENDIF
IF 学科=2
KANAME="食物栄養学科"
ENDIF
IF 学科=3
KANAME="社会福祉学科"
ENDIF
N=1
X=0
Y=0
ANSKN1=""
ANSKN2=""
CLEAR
@ X,Y SAY "学科名: "+KANAME+" "+HNA
@ X+1,Y SAY "番号"
X=2
DO WHILE N<=CKN
GON
IF 出欠="出"
IF 選択科目=SENT
@ X,Y SAY 番号 GET.&FNA PICTUR "999"
IF AMSM3="3T"
ELSE
READ
ENDIF
ENDIF
replace xx with x,yy with y
X=X+1
IF (Y=60.AND.X=22).or.n>=ckn
DO WHILE T.
@ 23,10 SAY "ご確認ください よろしけれ
ば Y 要訂正 N "GET ANSKN1
READ
IF ANSKN1="Y".OR.ANSKN1="y"
NT=CKN
ANSKN1=""
EXIT
ENDIF
if anskn1="N".or.anskn1="n"
DO SI-TEISEI
ENDIF
ANSKN1=""
LOOP
ENDDO
CLEAR
X=0
Y=0
@ X,Y SAY "学科名: "+KANAME+" "+HNA
@ 1,Y SAY "番号"
X=2
ENDIF
IF X=22
X=2
Y=Y+10
@ 1,Y SAY "番号"
ENDIF
N=N+1
ENDDO
CLEAR
DO WHILE T.
@ 7,10 SAY "確認用に結果をプリントアウト
しますか Y/N "GET ANSKN2
READ
IF ANSKN2="Y".OR.ANSKN2="y"
@ 9,10 SAY "印刷を始めてますので用意がで
きましたらリターンキーを押してください"
GET ANSKN2
READ
@ 11,20 SAY "印刷を始めています"

```

```

SET DEVICE TO PRINT
x=prcw0
Y=10
N=1
@ X,Y+2 SAY "学科名: "+KANAME+" "+HNA
@ X,Y+42 SAY date0
@ X,Y+52 SAY time0
@ X+1,Y+2 SAY "番号"
@ X+1,Y+17 SAY "番号"
@ X+1,Y+32 SAY "番号"
@ X+1,Y+47 SAY "番号"
X=X+2
cck=0
DO WHILE N<=CKN
GON
IF 選択科目=SENT
@ X,Y SAY 番号
@ X,Y+4 SAY "-"
IF 出欠="出"
@ X,Y+7 SAY.&FNA PICTUR "999"
ELSE
@ X,Y+7 SAY 出欠
ENDIF
ENDIF
if ckn>=(n+50)
GON+50
IF 選択科目=SENT
@ X,Y+15 SAY 番号
@ X,Y+19 SAY "-"
IF 出欠="出"
@ X,Y+22 SAY.&FNA PICTUR "999"
ELSE
@ X,Y+22 SAY 出欠
ENDIF
ENDIF
if ckn>=(n+100)
GON+100
IF 選択科目=SENT
@ X,Y+30 SAY 番号
@ X,Y+34 SAY "-"
IF 出欠="出"
@ X,Y+37 SAY.&FNA PICTUR "999"
ELSE
@ X,Y+37 SAY 出欠
ENDIF
ENDIF
ENDIF
if ckn>=(n+150)
GON+150
IF 選択科目=SENT
@ X,Y+45 SAY 番号
@ X,Y+49 SAY "-"
IF 出欠="出"
@ X,Y+52 SAY.&FNA PICTUR "999"
ELSE
@ X,Y+52 SAY 出欠
ENDIF
ENDIF
ENDIF
cck=cck+1
X=X+1
IF cck=50
EJECT
SET DEVICE TO SCREEN
N=N+150
clear
? CHR(7)
@ 9,20 SAY "用紙をセットしてください よ
ろしければ Y を"GET ANSKN1
READ
@ 11,20 SAY "印刷を始めています"
SET DEVICE TO PRINT
CLEAR
X=prcw0
Y=10

```

```

IFN<CKN
@ X,Y+2 SAY "学科名:" + KANAME + " " + HNA
@ X,Y+42 SAY date()
@ X,Y+52 SAY time()
@ X+1,Y+2 SAY "番号"
@ X+1,Y+17 SAY "番号"
@ X+1,Y+32 SAY "番号"
@ X+1,Y+47 SAY "番号"
ENDIF
X=2
cxc=0
ENDIF
N=N+1
ENDDO
eject
SET DEVICE TO SCREEN

CLEAR
SET STATUS ON
SET TALK ON
EXIT
ENDIF
IF ANSKN2="N" .OR. ANSKN2="n"
EXIT
ENDIF
ANSKN2=""
LOOP
ENDDO
DO SI-KEI1
clear
@ 7,10 SAY "最高 最低 平均 分布 を印刷
します "
@ 9,10 SAY "用紙をセットしてください よろ
しければ Y を" GET ANSKN1
READ
USE &HNAA
@ 11,20 SAY "印刷を始めています"
HNAB=LEFT(HNA,12)
D1=DATE()
T1=TIME()
SET DEVICE TO PRINT
X=PROW()
Y=10
@ X,Y SAY "学科名:" + KANAME + " " + HNAB
@ X,Y+80 SAY DATE()
@ X,Y+90 SAY TIME()
LIST OFF TO PRINT
SET DEVICE TO SCREEN
EJECT
USE
RETURN

* 名称: SI-TEISE.PRG
* 内容: 採点結果データ訂正
* 制作: 時野谷茂 1993
USE &NYUSIP INDEX &NYUSIP
NOO=0
@ 23,10 say " "
@ 23,10 SAY "訂正したいものの番号をどうぞ"
"GET NOO PICTUR "999"
READ
seek NOO
IF ANSKN="1"
@ xx,yy SAY 番号 GET &FNA PICTUR "9.9"
READ
ELSE
@ xx,yy SAY 番号 GET &FNA
READ
ENDIF
RETURN

* 名称: SI-KEI1.PRG
* 内容: 最高、最低、平均、度数分布計算
* 制作: 時野谷茂 1991 1992 1993
(紙面の都合により省略)

* 名称: 実技.PRG

```

```

* 内容: 実技採点データ入力・訂正
* 制作: 時野谷茂 1991 1992 1993

ANSM5=""
CLEAR
TEXT
実技採点データ入力及び訂正
1. データ入力及び訂正
2. 入力データ集計
番号順出力
序列順出力
3. 選択科目 MENU に戻る
4. 採点 MENU に戻る
5. 入試 MENU に戻る
E. 終了
* 基本的入力が済んだ後の訂正は [2T] の
ように各項目番号に T を加えて入力 *
ENDTEXT
ACCEPT "" TO ANSM5
IF CKZ# "OK"
DO SI-INPZF
CKZ="OK"
ENDIF
IF ANSM5="1"
DO SI-INPZLPRG
ENDIF
IF ANSM5="2"
DO SI-SYUKZ.PRG
ENDIF
IF ANSM5="3"
RETURN
ENDIF
IF ANSM5="4"
DO SAITEN.PRG
ENDIF
IF ANSM5="5"
DO MENU.PRG
ENDIF
IF ANSM5="E" .OR. ANSM5="e"
USE
CLEAR
ELSE
DO 実技.PRG
ENDIF
RETURN

* 名称: SI-INPZF.PRG
* 内容: 実技採点結果集計用ファイルの作
成
* 制作: 時野谷茂 1992 1993
CLEAR
@ 7,20 SAY "採点用ファイルは作成済みです
ね Y/N " GET ANSF1
@ 9,20 SAY "採点は何人で行いますか 人数
をどうぞ " GET NINZU
READ
IF ANSF1="N" .OR. ANSF1="n"
IF ANSM5="1"
USE NYUSIZ
COPY STRUC TO &NYUSIR
USE &NYUSIR
APPEND FROM &NYUSIP FOR 選択ｺｰﾄﾞ="1"
.AND. 出欠="出"
INDEX ON 番号 TO &NYUSIR
ENDIF
IF ANSM5="5"
USE SUISENZ
COPY STRUC TO &SUISENR
USE &SUISENR
APPEND FROM &NYUSIP FOR 選択ｺｰﾄﾞ="5"
.AND. 出欠="出"
INDEX ON 番号 TO &SUISENR
ENDIF
ENDIF
RETURN

* 名称: SI-INPZL.PRG

```

```

* 内容: 実技 採点者別入力及び訂正
* 制作: 時野谷茂 1991 1992 1993
DUMY=""
ANSKN1=""
CKX=0
DO SI-INPSS
SET TALK OFF
SET STATUS OFF
USE &NYUSIR INDEX &NYUSIR
CKN=RECCOUNT()
GO TOP
DO SI-INPZH
N=1
CLEAR
@ 0,0 SAY "実技採点結果入力 採点者番
号:" + STR(SAITENSYA,1) + ")"
X=1
Y=0
@ X,Y SAY "番号"
@ X,Y+6 SAY A1
@ X,Y+16 SAY A2
@ X,Y+26 SAY A3
@ X,Y+36 SAY A4
@ X,Y+46 SAY A5
@ X,Y+56 SAY A6
X=2
DO WHILE N<=CKN
GO N
@ X,Y SAY 番号
@ X,Y+10 GET &A1
@ X,Y+20 GET &A2
@ X,Y+30 GET &A3
@ X,Y+40 GET &A4
@ X,Y+50 GET &A5
@ X,Y+60 GET &A6
IF ANSM5="IT"
ELSE
@ X+2,Y SAY "よろしいですか " GET DUMY
READ
REPLACE XX WITH X
@ X+2,Y SAY "
ENDIF
X=X+1
IF X=22 .OR. N=CKN
DO SI-INPZZ
ENDIF
N=N+1
ENDDO

CLEAR
SET TALK ON
SET STATUS ON

DUMY1=""
CLEAR
DO WHILE T.
@ 7,20 SAY "入力結果を印刷しますか Y/N"
"GET DUMY1
READ
IF DUMY1="Y" .OR. DUMY1="y"
USE &NYUSIR
DO SI-INPZH
DO SI-INPK
EXIT
ENDIF
IF DUMY1="N" .OR. DUMY1="n"
EXIT
ENDIF
DUMY1=""
LOOP
ENDDO
RETURN

* 名称: SI-INPSS.PRG
* 内容: 採点者確認
* 制作: 時野谷茂 1992
PUBLIC SAITENSYA

```

```
DO WHILE.T.
CLEAR
@ 7,20 SAY "現在採点者は"
@ 7,33 SAY SAITENSYA
@ 7,36 SAY "です"
@ 9,20 "採点者はこのままでよろしですか はい-Y、いいえ-N" GET ANS
READ
IF ANS="N".OR. ANS="n"
DO SI-INPS
EXIT
ELSE
LOOP
ENDIF
ENDDO
RETURN
```

```
* 名称: SI-INPS.PRG
* 内容: 採点者選択
* 制作: 時野谷茂 1992
PUBLIC SAITENSYA
DO WHILE.T.
CLEAR
@ 5,20 SAY " * 実技採点者の変更 *"
@ 7,20 SAY " 採点者番号をどうぞ " TO
SAITENSYA
@ 9,20 SAY "よろしですか はい-Y、いいえ-N " GET ANS
READ
IF ANS="Y".OR. ANS="y"
EXIT
ENDIF
ENDDO
RETURN
```

```
* 名称: SI-INPZ.PRG
* 内容: 採点者別フィールド指定
* 制作: 時野谷茂 1991 1992 1993
(紙面の都合により省略)
```

```
* 名称: SI-INPZZ.PRG
* 内容: 入力結果の確認
* 制作: 時野谷茂 1993
DO WHILE.T.
@ 23,10 SAY "ご確認ください よろしければ
Y 要訂正 N " GET ANSKN1
READ
IF anskn1="n".or. anskn1="N"
DO SI-TEISZ
ENDIF
IF ANSKN1="Y".OR. ANSKN1="y"
NT=CKN
ANSKN1=""
EXIT
ENDIF
ANSKN1=""
LOOP
ENDDO
CLEAR
@ 0,0 SAY "実技採点結果入力 採点者番号-(+STR(SAITENSYA,1)+)"
X=1
Y=0
@ X,Y SAY "番号"
@ X,Y+6 SAY A1
@ X,Y+16 SAY A2
@ X,Y+26 SAY A3
@ X,Y+36 SAY A4
@ X,Y+46 SAY A5
@ X,Y+56 SAY A6
X=2
RETURN
```

```
* 名称: SI-INPK.PRG
* 内容: 実技 採点者別採点結果印刷 チェック用
```

```
* 制作: 時野谷茂 1992 1993
CKX=0
@ 9,10 SAY "用紙のセットはよろしいですか
Y " GET DUMY
READ
@ 11,20 SAY "印刷中です"
SET TALK OFF
SET DEVICE TO PRINT
N=1
X=PROW()
Y=10
@ X,Y SAY "実技採点結果 採点者番号-(+STR(SAITENSYA,1)+)"
@ X,Y+36 SAY DATE()
@ X,Y+51 SAY TIME()
X=X+2
@ X,Y+1 SAY "番号"
@ X,Y+7 SAY LEFT(A1,6)
@ X,Y+15 SAY LEFT(A2,6)
@ X,Y+23 SAY LEFT(A3,6)
@ X,Y+31 SAY LEFT(A4,6)
@ X,Y+39 SAY LEFT(A5,6)
@ X,Y+47 SAY LEFT(A6,6)
@ X,Y+58 SAY LEFT(A7,4)
CKXK=0
X=X+2
DO WHILE N<=CKN
GO N
IF ANSM5="2"
@ X,Y-6 SAY &ZYO
ENDIF
@ X,Y SAY 番号
@ X,Y+8 SAY &A1
@ X,Y+16 SAY &A2
@ X,Y+24 SAY &A3
@ X,Y+32 SAY &A4
@ X,Y+40 SAY &A5
@ X,Y+48 SAY &A6
@ X,Y+56 SAY &A7
CKXK=CKXK+1
IF CKX<=52 .OR. N<=CKN
EJECT
IF N<=CKN
N=CKN
ENDIF
IF N<CKN
SET DEVICE TO SCREEN
? CHR(7)
? CHR(7)
CLEAR
DUMY2=""
@ 7,10 SAY "印刷を続けますので用紙をセットしてください よろしければ Y " GET
DUMY2
READ
SET DEVICE TO PRINT
CKX=0
X=PROW()
Y=10
@ X,Y SAY "実技採点結果 採点者番号-(+STR(SAITENSYA,1)+)"
@ X,Y+36 SAY DATE()
@ X,Y+51 SAY TIME()
X=X+2
@ X,Y+1 SAY "番号"
@ X,Y+7 SAY LEFT(A1,6)
@ X,Y+15 SAY LEFT(A2,6)
@ X,Y+23 SAY LEFT(A3,6)
@ X,Y+31 SAY LEFT(A4,6)
@ X,Y+39 SAY LEFT(A5,6)
@ X,Y+47 SAY LEFT(A6,6)
@ X,Y+58 SAY LEFT(A7,4)
CKXK=0
X=X+2
ENDIF
ENDIF
CKX=CKX+1
```

```
X=X+1
IF CKXK=5
CKX=CKX+1
X=X+1
CKXK=0
ENDIF
N=N+1
ENDDO
CLEAR
SET TALK ON
SET DEVICE TO SCREEN
RETURN
```

```
* 名称: SI-SYUKZ.PRG
* 内容: 実技 採点結果の集計
* 制作: 時野谷茂 1992 1993
```

```
SET SAFETY OFF
FNA="平均"
HNA="実技採点結果"
CLEAR
USE &NYUSIR
DELETE FOR 番号=0
PACK
CKK=RECCOUNT()
IF NINZU>=1
REPLACE ALL 小計_1 WITH 技術力_1+表現力_1+構成員_1+着想力_1+完成度_1+汚損度_1
REPLACE ALL 小計 WITH 小計_1
ENDIF
IF NINZU>=2
REPLACE ALL 小計_2 WITH 技術力_2+表現力_2+構成員_2+着想力_2+完成度_2+汚損度_2
REPLACE ALL 小計 WITH 小計_1+小計_2
ENDIF
IF NINZU>=3
REPLACE ALL 小計_3 WITH 技術力_3+表現力_3+構成員_3+着想力_3+完成度_3+汚損度_3
REPLACE ALL 小計 WITH 小計_1+小計_2+小計_3
ENDIF
IF NINZU>=4
REPLACE ALL 小計_4 WITH 技術力_4+表現力_4+構成員_4+着想力_4+完成度_4+汚損度_4
REPLACE ALL 小計 WITH 小計_1+小計_2+小計_3+小計_4
ENDIF
REPLACE ALL 平均 WITH 小計/NINZU
IF NINZU>=1
REPLACE ALL 平均_1 WITH 小計_1/平均 FOR 平均>0
ENDIF
IF NINZU>=2
REPLACE ALL 平均_2 WITH 小計_2/平均 FOR 平均>0
ENDIF
IF NINZU>=3
REPLACE ALL 平均_3 WITH 小計_3/平均 FOR 平均>0
ENDIF
IF NINZU>=4
REPLACE ALL 平均_4 WITH 小計_4/平均 FOR 平均>0
ENDIF
CLEAR
? CHR(7)
? CHR(7)
? CHR(7)
DUMY=""
@ 7,10 SAY "各採点委員の採点結果を印刷しますので準備してください"
@ 9,10 SAY "よろしかったら リターン・キーを押してください" GET DUMY
READ
IF NINZU>=1
SAITENSYA=1
ZYO="序列1"
CKKMS="小計_1"
```

```

USE &NYUSIR
SORT TO WORK ON 小計_1/D
DO SI-IZNIN
ENDIF
IF NINZU >= 2
SAITENSYA=2
ZY0="序列 2"
CKKMS="小計_2"
USE &NYUSIR
SORT TO WORK ON 小計_2/D
DO SI-IZNIN
ENDIF
IF NINZU >= 3
SAITENSYA=3
ZY0="序列 3"
CKKMS="小計_3"
USE &NYUSIR
SORT TO WORK ON 小計_3/D
DO SI-IZNIN
ENDIF
IF NINZU >= 4
SAITENSYA=4
ZY0="序列 4"
CKKMS="小計_4"
USE &NYUSIR
SORT TO WORK ON 小計_4/D
DO SI-IZNIN
ENDIF
SAITENSYA=0
ZY0="序列"
CKKMS="小計"
USE &NYUSIR
SORT TO WORK ON 小計/D
DO SI-IZNIN
replace all 差 1 with (序列-序列 1), 差 2 with (序
列-序列 2), 差 3 with (序列-序列 3), 差 4 with (序
列-序列 4)
CLEAR
? CHR(7)
? CHR(7)
? CHR(7)
DUMY=""
@ 7.10 SAY "各採点委員の採点結果を印刷しま
すので準備してください"
@ 9.10 SAY "よろしかったら リターン・キー
を押してください" GET DUMY
READ
SET DEVICE TO PRINT
N=1
X=PROWQ
Y=10
@ X,Y SAY "序列 1 序列 2 序列 2
序列 1 序列 番号 平均 計 1 計 2 計 3 計 4"
X=X+2
CKX=0
DO WHILE N<=CKN
GO N
@ X,Y SAY STR(序列 4,3)+(" "+STR(差 4,3)+")
"+STR(序列 3,3)+(" "+STR(差 3,3)+") "+STR(序
列 2,3)+(" "+STR(差 2,3)+") "+STR(序列
1,3)+(" "+STR(差 1,3)+")
@ X,Y+40 SAY STR(序列,3)+(" "+STR(番号,3)+")
"+STR(平均,3)+")
@ X,Y+55 SAY STR(小計_1,3)+(" "+STR(小計
_2,3)+") "+STR(小計_3,3)+(" "+STR(小計_4,3)
CKX=CKX+1
X=X+1
IF CKX=70
EJECT
X=PROWQ
Y=10
@ X,Y SAY "序列 1 序列 2 序列 2
序列 1 序列 番号 平均 計 1 計 2 計 3 計 4"
X=X+2
CKX=0
ENDIF
N=N+1
ENDDO
EJECT
SET DEVICE TO SCREEN
SORT TO WORK ON 番号
ZAP
APPEND FROM WORK
CLEAR
@ 7.10 SAY "最高 最低 平均 分布 を計
算しています"
DO SI-KEI1
ANSKN1=""

```

```

clear
@ 7.10 SAY "最高 最低 平均 分布 を印
刷します"
@ 9.10 SAY "用紙 日 4 横 をセットしてくだ
さい よろしければ Y を" GET ANSKNI
READ
USE &HNAA
@ 11.20 SAY "印刷を始めています"
HNAB=LEFT(HNA,12)
D1=DATEQ
T1=TIMEQ
SET DEVICE TO PRINT
X=PROWQ
Y=10
@ X,Y SAY "学科名:"+"産業情報学科"+"
"+HNAB
@ X,Y+80 SAY DATEQ
@ X,Y+90 SAY TIMEQ
LIST OFF TO PRINT
SET DEVICE TO SCREEN
EJECT
USE
DUMY=""
CLEAR
@ 7.10 SAY "選択科目集計欄への書き込みを
行いますか Y/N" GET DUMY
READ
IF DUMY="Y".OR.DUMY="y"
N=1
USE &NYUSIR
CKK=RECCOUNTQ
DO WHILE N<=CKK+1
GO N
NO=番号
TOKUTEN=平均
USE &NYUSIP INDEX &NYUSIP
SEEK NO
REPLACE 選択 WITH TOKUTEN
USE &NYUSIR
N=N+1
IF EOFQ
EXIT
ENDIF
ENDDO
USE
ENDIF
SET SAFETY ON
RETURN
* 名称: SI-IZNIN.PRG
* 内容: 序列記入
* 制作: 時野谷茂 1993
ZAP
APPEND FROM WORK
REPLACE ALL &ZY0 WITH RECNOQ
CKN=RECCOUNTQ
N=2
GO 1
CKKM=&CKMS
CKZ1=&ZY0
DO WHILE N<=CKN
GO N
IF &CKMS=CKKM
REPLACE &ZY0 WITH CKZ1
ENDIF
CKKM=&CKMS
CKZ1=&ZY0
N=N+1
ENDDO
IF SAITENSYA>0
DO SI-INPZH
DO SI-INPK
ENDIF
RETURN
< 3・全科目採点データ集計 >
* 名称: SI-G.PRG
* 内容: 採点データ転記 集計 序列記入
* 制作: 時野谷茂 1992
* SI-G.PRG ** 得点合計 **
ANSG1=""
D1=""
D2=""
D3=0
D4=""
CLEAR
TEXT

```

```

-全科目採点結果集計
0. 英語採点結果の転記
1. 実技採点結果の転記
2. 数学採点結果の転記
3. 世界史採点結果の転記
4. 日本史採点結果の転記
5. 面接採点結果の転記
7. 合計点の算出と序列記入
E. 終了
番号をどうぞ
ENDTEXT
ACCEPT " " TO ANSG1
IF ANSG1#7".AND.ANSG1#E".AND.
ANSG1#e"
CLEAR
@ 5.20 SAY "学科集計用ディスクのドライブ番
号をどうぞ" GET D2
@ 7.20 SAY "科目採用フロッピーをセットし
て下さい"
@ 9.20 SAY " ディスクドライブの番
号をどうぞ" GET D1
@ 10.20 SAY "何学科ですか 学科の番号をど
うぞ" GET D3
@ 12.20 SAY "産業情報学科-1 食物栄養学科-
2 社会福祉学科-3"
@ 14.20 SAY "よろしいですか よろしければ
リターンキー" GET D4
READ
GCK="1"
N=1
SET DEFA TO &D1
USE &NYUSIP
CKK=RECCOUNTQ
DO WHILE N<=CKK
GO N
IF ANSG1="0"
TCK=英語
TCKK="英語"
ENDIF
IF ANSG1="2".OR.ANSG1="3".OR.ANSG1="4"
.OR.ANSG1="5".OR.ANSG1="1"
TCK=選択
TCKK="選択"
ENDIF
ENDIF
TCKN=コード
TCKG=学科
IF TCK#D3
? CHR(7)
? CHR(7)
CLEAR
@ 7.20 SAY "指定の学科とデータの学科が異な
ります やり直して下さい" GET D4
READ
CLEAR
USE
SET DEFA TO &D2
DO SI-G
ENDIF
SET DEFA TO &D2
USE &NYUSIP INDEX NYUSIPC
SEEK TCKN
IF D3#学科
? CHR(7)
? CHR(7)
CLEAR
@ 7.20 SAY "学科の指定が誤っています やり
直して下さい" GET D4
READ
CLEAR
USE
SET DEFA TO &D2
DO SI-G
ENDIF
IF 選択コード=ANSG1.AND.(ANSG1=R.
ANSG1="3".OR.ANSG1="4".OR.ANSG1="5"
.OR.ANSG1="1")
REPLACE &TCKK WITH TCK
ENDIF
IF ANSG1="0"
REPLACE &TCKK WITH TCK
ENDIF
SET DEFA TO &D1
USE &NYUSIP
N=N+1
ENDDO
SET DEFA TO &D2
ENDIF
IF ANSG1="7"

```

```

SET SAFETY OFF
USE &NYUSIP INDEX &NYUSIP
REPLACE ALL 合計 WITH 英語+国語+選択
* 序列入力 *
NO=0
NCK=0
CK=0
TCK=0
USE &NYUSIP INDEX &NYUSIP
SORT TO JORETU ON 合計 /D, 評定平均 /D, 面接, 番号
ZAP
APPEND FROM JORETU
REPLACE ALL 序列 WITH RECNO
COUNT TO CKK
GO 1
ZOK=序列
TCK=合計
NO=2
DO WHILE NO<CKK+1
GOTO NO
IF 合計=TCK
REPLACE 序列 WITH ZOK
ENDIF
ZOK=序列
TCK=合計
NO=NO+1
ENDDO
SORT TO JORETU ON 合計 /D, 評定平均 /D, 面接, 番号
SORT TO WORK ON 番号
ZAP
APPEND FROM WORK
USE
SET SAFETY ON
ENDIF
IF ANSG1="E".OR. ANSG1="e"
CLEAR
USE
RETURN
ELSE
DO SI-G
ENDIF

```

< 4・集計結果出力 >

```

* 名称: SI-KPPRG
* 内容: 採点集計結果データ簡易出力
* 制作: 時野谷茂 1991 1992 1993
ANSM16=""
ANSM161=""
CLEAR
@ 520 SAY "番号順ですか序列順ですか 番号順-1 序列順-2." GET ANSM161
@ 720 SAY "印刷する場合は B 4用紙タテを用意して下さい"
@ 920 SAY "よろしければリターンキーを押して下さい" GET ANSM16
READ
if ansm161="1"
USE &NYUSIP
ENDIF
if ansm161="2"
USE JORETU
ENDIF
CKN=RECCOUNT0
IF SYUBETU0="0"
N=1
DO WHILE .T.
GO 1
DISPLAY NEXT 70 FIELDS 番号, 選択, 面接, 合計 TO PRINT
IF CKN<70*N
EXIT
ENDIF
N=N+1
LOOP
ENDDO
ENDIF
IF SYUBETU0="1"
N=1
DO WHILE .T.
GO 1
DISPLAY NEXT 70 FIELDS 番号, 国語, 英語, 選択, 合計 TO PRINT
IF CKN<70*N
EXIT
ENDIF

```

```

N=N+1
LOOP
ENDDO
ENDIF
RETURN
< 5・合格点及び合否入力 >
* 名称: SI-GO.PRG
* 内容: 合否判定結果入力
* 制作: 時野谷茂 1991 1992 1993
CLEAR
BAN=0
INPUT "合格者は序列何番までですか 順位をどうぞ" TO BAN
USE &NYUSIP INDEX &NYUSIP
REPLACE 合否 WITH "合" FOR 序列<BAN+1
CLEAR
WAIT "                確認して下さい"
GO 1
BROW FIELDS 番号, 合否
RETURN
< 6・最終提出試料作成 >
* 名称: SI-SEP.PRG
* 内容: 最終データ出力 推薦と一般の別による書式選択
* 制作: 時野谷茂 1991
IF SYUBETU0="0"
DO SI-TXTS
ENDIF
IF SYUBETU0="1"
DO SI-TXT
ENDIF
RETURN
* 名称: SI-TXT.PRG
* 内容: 一般入試用出力書式
* 作成: 牧田 和久(1991/12/13)
* 改編: 時野谷 茂(1993/10/11)
CKS=0
DO SI-SASIPRG
SET TALK OFF
DO WHILE .T.
CLEAR
? "1. 差し込み用データファイル作成 (事務処理用)"
? "2.      " (内部資料用: 序列順) "
? "3.      " (内部資料用: 番号順) "
? "4. 終了"
ACCEPT "番号を選んで下さい" TO NUM
IF (NUM="1".OR.NUM="2".OR.NUM="3")
AND. CKS=0
ACCEPT "今年の卒業年度は (西暦年下二桁) ?" TO NENDO
USE PRIN01
NEN=SPACE(6)
REPLACE ALL 卒業年度 WITH NEN FOR 卒業年度=NENDO
CKS=1
ENDIF
DO CASE
CASE NUM="1"
USE PRIN01
SORT TO WORK ON 序列, 番号
USE WORK
COPY TO SASIDAT1.TXT ALL FIELDS 合否, 序列 1, 英語 1, 国語 1, 数学 1, 日本 1, 世界 1, 実技 1, 合計 1, 評定平均 1, ランク, 番号 1, 氏名, 性別, コース 1 TYPE DELIMITED
CASE NUM="2"
USE PRIN01
SORT TO WORK ON 序列, 番号
USE WORK
COPY TO SASIDAT2.TXT ALL FIELDS 合否, 序列 1, 英語 1, 国語 1, 数学 1, 日本 1, 世界 1, 実技 1, 合計 1, 評定平均 1, ランク, 番号 1, 氏名, 性別, 卒業年度, 出身県, 出身高校, コース 1 TYPE DELIMITED
CASE NUM="3"
USE PRIN01
SORT TO WORK ON 番号
USE WORK
COPY TO SASIDAT3.TXT ALL FIELDS 合否, 番号 1, 英語 1, 国語 1, 数学 1, 日本 1, 世界 1, 実技 1, 合計 1, 評定平均 1, ランク, 序列 1, 氏名, 性別, 卒業年度, 出身県, 出身高校, コース 1 TYPE DELIMITED
CASE NUM="4"
USE PRIN01
SORT TO WORK ON 番号
USE WORK
COPY TO SASIDAT4.TXT ALL FIELDS 合否, 番号 1, 英語 1, 国語 1, 数学 1, 日本 1, 世界 1, 実技 1, 合計 1, 評定平均 1, ランク, 序列 1, 氏名, 性別, 卒業年度, 出身県, 出身高校, コース 1 TYPE DELIMITED
CASE NUM="4"

```

```

USE
CLEAR
RETURN
OTHERWISE
LOOP
ENDCASE
ENDDO
RETURN
* 名称: SI-TXTS.PRG
* 内容: 推薦入試用出力書式
* 作成: 牧田 和久(1991/12/13)
* 改編: 時野谷 茂(1993/10/11S)
SET TALK OFF
DO WHILE .T.
CLEAR
? "1. 差し込み用データファイル作成 (事務処理用)"
? "2.      " (内部資料用: 序列順) "
? "3.      " (内部資料用: 番号順) "
? "4. 終了"
ACCEPT "番号を選んで下さい" TO NUM
DO CASE
CASE NUM="1"
USE &NYUSIP
SORT TO WORK ON 番号
USE WORK
COPY TO SASIDAT1.TXT FIELDS 番号, 氏名, 性別, 出身高校, 卒業年度, 県別, 評定平均, ランク, 面接, 選択, コース, 合否 TYPE DELIMITED
CASE NUM="2"
USE &NYUSIP
SORT TO WORK ON 序列, 番号
USE WORK
COPY TO SASIDAT2.TXT FIELDS 番号, 序列, 氏名, 性別, 出身高校, 県別, 評定平均, ランク, 面接, 選択, コース, 合否 TYPE DELIMITED
CASE NUM="3"
USE &NYUSIP
SORT TO WORK ON 番号
USE WORK
COPY TO SASIDAT3.TXT FIELDS 番号, 序列, 氏名, 性別, 出身高校, 県別, 評定平均, ランク, 面接, 選択, コース, 選択科目, 合否 TYPE DELIMITED
CASE NUM="4"
USE
CLEAR ALL
RETURN
OTHERWISE
LOOP
ENDCASE
ENDDO
RETURN
* 名称: SI-SASIPRG (一般入試用)
* 内容: 出力書式に合わせたデータ整形
* 作成: 時野谷 茂(1993/10/11)
(紙面の都合により省略)
< 7・一般・推薦重複度チェック >
* 名称: SI-HLPRG
* 内容: 一般・推薦重複度チェックしそのファイルを作成する
* 制作: 時野谷茂 1991
(紙面の都合により省略)
< 8・入学者・辞退者入力 >
* 名称: SI-NYU.PRG
* 内容: 入学者・辞退者入力
* 受付側で処理を原則とする
* 制作: 時野谷茂 1991
(紙面の都合により省略)
< 9・データ引継 >
* 名称: SI-HUKIT.PRG
* 内容: 引継用データ作成
* 制作: 時野谷茂 1992 1993
(紙面の都合により省略)

```